

1.計画名称

茅野市ICT活用戦略

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	コロナ過で停滞する事業が多くある中において、ICT関連事業は、人との接触を回避する需要から逆に追い風を受けおおむね順調に進行しています。引き続き、着手している事業の着実な実施に向け、進行管理を行います。
今後の重点化施策番号	3	説明	未来都市・茅野の実現に向け取り組む中で、先行的な行政事務のDX推進が求められている。全職員の意識改革を促し、業務のBPRを進め、AI・RPA化により業務効率を高める中で市民サービスの向上につなげます。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	市民生活・教育環境の充実・向上	おおむね順調	GIGAスクール構想に対応し、1人1台使用できる学習者用端末と授業を行う教員が使用できる教員用学習者用端末を導入した。また、令和元年度補正予算繰越により校内通信ネットワーク環境施設整備工事を行った。	探究的な学びの実現に向けた授業改善、校務の情報化の加速、児童生徒の端末利用に係る保護者理解、教員自身のICT教育への理解とスキルアップ。	なし
2	公立諏訪東京理科大学等との連携による、産業育成と雇用創出	おおむね順調	①コワーキングスペースの稼働は順調に増加している。国のコロナ対策交付金を活用し、市内のワーケーション等の環境を整えた。 ②理科大との連携による地域の課題解決に向けた研修開発を実施。最終年度においても順調に成果が出ている。	①令和3年度末でコワーキングスペースの指定管理期限が満了することから、以降の運営について検討する必要がある。 ②事業成果の事業化促進につながるよう実証継続をしていく必要がある。	①全国的なテレワークやワーケーション等推進の動きを踏まえ、ワークラボハケ岳を拠点として地域のワーケーション推進体制を構築する。 ②地域課題と地元企業の販路開拓等につながる産学公連携体制を自立化させていき、生み出された成果の発信や人材育成、呼び込みの継続を図る。
3	行政サービスの利便性向上、情報セキュリティの確保と業務効率化	おおむね順調	住民票・税証明などのコンビニ交付件数は伸びている。コロナ禍でのテレワーク需要に合わせ、端末導入を準備。タブレット端末を利用した、農地パトロール及び転作確認システムにより遊休農地の把握が容易になった。	テレワーク端末を用いて管理職端末の更新を進める。有休農地の把握は容易になったが、有効活用され、解消につながる斡旋につながる仕組みが必用。	ペーパーレス会議システムの導入は、管理職のテレワーク用端末導入により実施につなげていく。 マイナンバーカードの普及啓発活動の推進。
4	戦略的な情報発信とオープンデータの提供	おおむね順調	①インターネット動画はコロナ禍における情報発信ツールとして再生回数の伸びた。 ②SNSは特に市公式インスタラムのフォロワー数が順調に増加している。また、インスタグラムを活用した募集などに効果が見え始めた。	①インターネット動画内容の整理と市外向けの見せ方の工夫。 ②市民特派員増加によるアプリ管理の徹底。 ③各コンテンツの特徴を活かした情報発信の在り方の検討	①市外、若者向けに特化した動画チャンネルの構築 ②SNSの未使用の機能の活用や検討。

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		

5.添付資料

別紙「施策評価シート」